

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県伊平屋島

増産プロジェクトにおける令和5年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況

生産計画の達成状況等

1 令和5年産の生産実績

	収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
H28年産実績	46	15	70	131	6,417	4,105	3,464	4,576	2,965	602	2,437	6,003
H29年産実績	41	25	90	157	4,771	2,604	3,037	3,423	1,966	656	2,745	5,367
H30年産実績	37	18	113	168	4,295	2,677	3,599	3,654	1,581	476	4,079	6,136
R元年産実績	26	12	95	133	4,685	3,284	2,751	3,183	1,239	391	2,606	4,236
R2年産実績	43	24	94	160	4,300	2,081	3,147	3,296	1,839	495	2,954	5,289
R3年産実績	31	15	95	141	3,946	2,974	2,744	3,031	1,217	444	2,620	4,282
R4年度実績	44	3	92	139	4,901	3,392	3,199	3,741	2,156	90	2,957	5,203
R5年増産計画	35	19	97	151	4,429	2,645	3,083	3,344	1,568	492	3,000	5,060
R5年増産実績	40	8	92	140	3,245	2,692	204	2,820	1,304	204	2,428	3,936
(対計画比%)	(113.5)	(40.8)	(94.4)	(92.2)	(73.3)	(101.8)	(6.6)	(84.3)	(83.2)	(41.5)	(80.9)	(77.8)
(対前年比%)	(91.3)	(252.7)	(99.8)	(100.4)	(66.2)	(79.4)	(6.4)	(75.4)	(60.5)	(226.7)	(82.1)	(75.6)

2 その他指標の動向 令和4年産→令和5年産

・株出栽培の割合66.2%→65.8%

・さとうきび作農家戸数47戸→47戸

・平均糖度15.1度→16.4度

増産目標に対する位置づけ	令和5年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった <table><thead><tr><th></th><th>収穫面積</th><th>単収</th><th>生産量</th></tr></thead><tbody><tr><td>(計画)</td><td>151ha</td><td>3,344kg/10a</td><td>5,060t</td></tr><tr><td>(実績)</td><td>140ha</td><td>2,820kg/10a</td><td>3,936t</td></tr></tbody></table> 伊平屋村における令和5年産の当初の増産目標は、収穫面積151.3ha、単収3.4t、生産量5,060tを計画していた。令和5年8月に襲来した台風6号により伊平屋村においては、13%にもものぼる被害を受けたものの、その後の農家・関係機関の取組により増産目標の数値には達しなかったが、台風被害による影響を最小限に食い止めることができた。目標数値の達成に向けて、行政としては、灌漑排水設備の早期供給開始及び補助事業の導入による農家経営の負担軽減に取り組み、生産者においては夏植えの面積割合を増加することを重点的に取り組む。		収穫面積	単収	生産量	(計画)	151ha	3,344kg/10a	5,060t	(実績)	140ha	2,820kg/10a	3,936t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	151ha	3,344kg/10a	5,060t										
(実績)	140ha	2,820kg/10a	3,936t										
課題	- 伊平屋北部2期の供給開始の遅れ - 村内堆肥センターの堆肥の在庫確保 - 担い手やハーベスタのオペレーター等の人材確保												
令和5年産における取組方針	主なさとうきび生産振興策として - 灌漑排水設備の早期供給開始に向けて、沖縄県との調整協議を密に行う - 年間の生産計画をたて、需要が高まる時期に向けて在庫を確保する - 島外からの新規参入者を募る												

(1) 経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																						
①効率的な さとうきび経営 の育成と労働 力の確保	【実施した取組】 農業経営改善計画等の作成を支援し、認定農業者を2名（新規1名・更新1名）を育成した	- 新規就農者の受入体制の整備 - 各種補助事業を活用しながら、組織運営のサポートを行う - 若い担い手の法人化を推進する																																																						
	【目標の達成状況】 <table><tr><th></th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>認定農業者</td><td>－</td><td>1</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>農業法人</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td><td>1</td></tr></table>			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	認定農業者	－	1	5	5	6	6	6	7	農業法人	－	－	－	1	1	3	3	1																											
			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																																														
	認定農業者		－	1	5	5	6	6	6	7																																														
農業法人	－	－	－	1	1	3	3	1																																																
【課題】 - 担い手やハーベスタのオペレーター等の人材確保 - 受託組織等の育成 - 農業生産法人の設立																																																								
②農業共済制 度への加入促 進	【実施した取組】 共済職員により各農家へ制度周知を行った	パンフレット等の資料を活用し、加入促進を図る																																																						
	【目標の達成状況】 <table><tr><th></th><th>H28 (29年産)</th><th>H29 (30年産)</th><th>H30 (R元年産)</th><th>R元 (R2年産)</th><th>R2 (R3年産)</th><th>R3 (R4年産)</th><th>R4 (R5年産)</th><th>R5 (R6年産)</th></tr><tr><td>加入戸数 (戸)</td><td>38</td><td>37</td><td>31</td><td>24</td><td>19</td><td>19</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>戸数引受率 (%)</td><td>74.5</td><td>67.3</td><td>59.6</td><td>48.0</td><td>40.4</td><td>38.8</td><td>38.3</td><td>36.0</td></tr><tr><td>引受面積 (ha)</td><td>128</td><td>132</td><td>89</td><td>77</td><td>64</td><td>80</td><td>71</td><td>75</td></tr><tr><td>面積引受率 (%)</td><td>81.3</td><td>78.6</td><td>67.1</td><td>48.1</td><td>44.9</td><td>51.6</td><td>50.4</td><td>46.9</td></tr><tr><td>共済金額 (千円)</td><td>55,055</td><td>65,808</td><td>50,923</td><td>53,878</td><td>44,755</td><td>37,218</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>			H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)	加入戸数 (戸)	38	37	31	24	19	19	18	18	戸数引受率 (%)	74.5	67.3	59.6	48.0	40.4	38.8	38.3	36.0	引受面積 (ha)	128	132	89	77	64	80	71	75	面積引受率 (%)	81.3	78.6	67.1	48.1	44.9	51.6	50.4	46.9	共済金額 (千円)	55,055	65,808	50,923	53,878	44,755	37,218	－	－
			H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)																																														
	加入戸数 (戸)		38	37	31	24	19	19	18	18																																														
戸数引受率 (%)	74.5	67.3	59.6	48.0	40.4	38.8	38.3	36.0																																																
引受面積 (ha)	128	132	89	77	64	80	71	75																																																
面積引受率 (%)	81.3	78.6	67.1	48.1	44.9	51.6	50.4	46.9																																																
共済金額 (千円)	55,055	65,808	50,923	53,878	44,755	37,218	－	－																																																
	注) R4、R5 年産の数値については概算値																																																							
	【課題】 共済制度への理解度が低い																																																							

(2) 生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題									今後の取組方向
①気象災害に強い生産基盤の整備	【実施した取組】									・灌漑排水設備の早期供給開始に向けて、沖縄県と連携を密にし、早期供給開始を目指す ・適期植付、日頃の管理を徹底する ・グリーンベルトの設置
	・ かんがい排水施設の整備 ・ かん水の推進及び支援									
	【目標の達成状況】 (単位: %)									
		H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込	
	ほ場整備率	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	95.4	79.0	
	水源整備率	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	95.6	91.3	
	畑地かんがい整備率	76.5	83.3	84.7	84.7	84.7	84.7	88.7	84.7	
【課題】										
・ 伊平屋北部2期の供給開始の遅れ ・ 台風や干ばつ時の被害軽減対策 ・ 強雨時の圃場からの耕土流出										

②機械化一貫 体系の確立	【実施した取組】 - 補助事業を活用し、ビレットプランターによる植付 【目標の達成状況】 (単位: 台、ha、%) <table><tr><th></th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>ハーベスタ 稼働台数</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>ハーベスタ 収穫面積</td><td>131</td><td>157</td><td>168</td><td>133</td><td>160</td><td>141</td><td>139</td><td>139</td></tr><tr><td>ハーベスタ 収穫率(面積)</td><td>99.8</td><td>99.8</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>99.9</td></tr></table> 【課題】 - オペレーターの育成と確保 - 収穫機械等の老朽化		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	ハーベスタ 稼働台数	5	5	5	5	5	5	4	4	ハーベスタ 収穫面積	131	157	168	133	160	141	139	139	ハーベスタ 収穫率(面積)	99.8	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	- 研修等への積極的な参加を図り、島外からもオペレーターの募集を図る - 補助事業等を活用しての長寿命化対策を図る
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																														
ハーベスタ 稼働台数	5	5	5	5	5	5	4	4																														
ハーベスタ 収穫面積	131	157	168	133	160	141	139	139																														
ハーベスタ 収穫率(面積)	99.8	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9																														
③地力の増進	【実施した取組】 - 補助事業を活用し、有機質資材の投入を支援した - 土壌分析を実施した 【課題】 - 村内堆肥センターでの需要量の確保 - 土づくりに対する意識向上	- 堆肥の年間生産計画をたて、在庫の管理を徹底する - 村内堆肥センターの堆肥利用を推奨する																																				

(3) 技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																						
①病害虫対策	【実施した取組】 - 補助事業を活用し、害虫の適期防除および一斉防除のための農薬費を助成した - 交信かく乱法によるイネヨトウ防除を実施した 【課題】 - メイチュウ類による被害	- 早期防除対策を推進する - 交信かく乱法によるイネヨトウ防除を継続する - 効果的な防除対策の周知を図る																																																						
②優良品種の 選択・普及	【実施した取組】 - 原種ほを設置し、無病健全苗の供給と普及（県委託事業：優良種苗安定確保事業） 【目標の達成状況】 (単位:%) <table><tr><th></th><th>H28 (実績)</th><th>H29 (実績)</th><th>H30 (実績)</th><th>R元 (実績)</th><th>R2 (実績)</th><th>R3 (実績)</th><th>R4 (実績)</th><th>R5 (実績)</th></tr><tr><td>農林15号</td><td>16.8</td><td>13.4</td><td>8.3</td><td>9.0</td><td>7.5</td><td>11.3</td><td>11.5</td><td>11.4</td></tr><tr><td>農林17号</td><td>22.1</td><td>16.6</td><td>16.1</td><td>14.3</td><td>10.0</td><td>14.9</td><td>16.2</td><td>16.1</td></tr><tr><td>農林20号</td><td>6.1</td><td>5.1</td><td>4.2</td><td>3.8</td><td>3.8</td><td>2.1</td><td>3.1</td><td>3.1</td></tr><tr><td>農林22号</td><td>13.0</td><td>12.1</td><td>8.9</td><td>6.8</td><td>9.4</td><td>10.6</td><td>8.7</td><td>8.7</td></tr><tr><td>農林27号</td><td>8.4</td><td>9.6</td><td>9.5</td><td>11.3</td><td>7.5</td><td>31.7</td><td>7.9</td><td>7.8</td></tr></table> 【課題】 - 伊平屋村に適した品種の選定		H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	農林15号	16.8	13.4	8.3	9.0	7.5	11.3	11.5	11.4	農林17号	22.1	16.6	16.1	14.3	10.0	14.9	16.2	16.1	農林20号	6.1	5.1	4.2	3.8	3.8	2.1	3.1	3.1	農林22号	13.0	12.1	8.9	6.8	9.4	10.6	8.7	8.7	農林27号	8.4	9.6	9.5	11.3	7.5	31.7	7.9	7.8	生産部会等で品種の選定を行う
	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)																																																
農林15号	16.8	13.4	8.3	9.0	7.5	11.3	11.5	11.4																																																
農林17号	22.1	16.6	16.1	14.3	10.0	14.9	16.2	16.1																																																
農林20号	6.1	5.1	4.2	3.8	3.8	2.1	3.1	3.1																																																
農林22号	13.0	12.1	8.9	6.8	9.4	10.6	8.7	8.7																																																
農林27号	8.4	9.6	9.5	11.3	7.5	31.7	7.9	7.8																																																
③栽培技術の 普及等	【実施した取組】 - 栽培管理に関する講習会の開催 【課題】 - 植付の遅れによって生じる単収の低下、自然災害の影響を受けやすさ	工程を管理し、管理作業の質の向上																																																						